

第151期 中間報告書

(平成28年3月1日から平成28年8月31日まで)



©2016 RANMARUとゆかいな仲間たち



松竹株式会社

証券コード9601

松竹株式会社

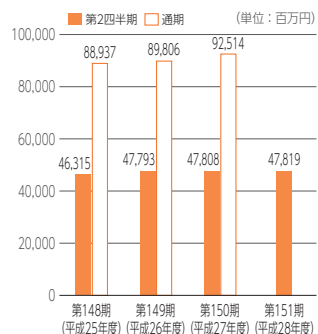
代表取締役社長 迫本 淳一



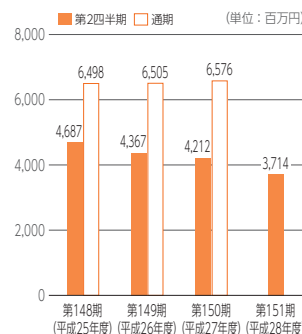
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社は第151期第2四半期連結累計期間（平成28年3月1日から平成28年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

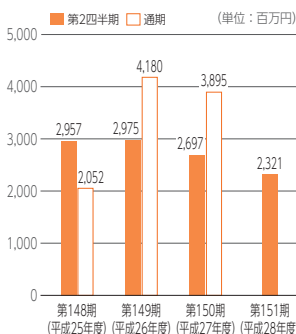
売上高



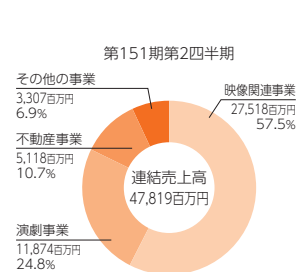
経常利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



事業別売上高



当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費は消費者マインドに足踏みがみられ、概ね横ばいで推移したものの、設備投資の持ち直し、雇用情勢の改善等から、緩やかな回復基調が続きました。

映画業界は、ゴールデンウィークに公開の「ズートピア」、その後も「ファインディング・ドリー」[ONE PIECE FILM GOLD]「シン・ゴジラ」等の大ヒットにより、夏季オリンピックの影響はあったものの、盛況だった前年と興行成績はほぼ同程度で推移しました。

演劇業界は、依然としてお客様が公演を厳しく選別している状況が続いており、お客様の嗜好に合致した企画・公演を実現するとともに、現状の観客動員を維持しながら新たな販路を開拓していくことが課題となりました。また、劇場・ホールの建て替えや改修工事が続出していることから、今後の会場確保に注視が必要となりました。

不動産業界は、賃貸オフィスビル市場で、引き続き空室率が改善し、都心部の一部では成約賃料の回復傾向がみられました。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めて参りました結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高47,819百万円（前年同期比100.0%）、営業利益4,168百万円（同91.0%）、経常利益3,714百万円（同88.2%）となり、特別利益39百万円、特別損失58百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,321百万円（同86.0%）となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残ることから、誠に遺憾ながら見送らせていただきたく存じます。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

上半期の概況

映像関連事業

【配給】 ODSを含む邦画13本、洋画3本、アニメ7本、シネマ歌舞伎、METライブビューイングとバラエティに富んだ作品を公開しました。3月公開の「家族はつらいよ」は、「男はつらいよ」シリーズから20年振りとなる山田洋次監督による喜劇作品で、日本中に笑いを届けました。5月公開の「殿、利息でござる!」は、実話をもとにした歴史エンターテインメントとして注目を集めヒットとなり、6月公開の「植物図鑑 運命の恋、ひろいました」は、岩田剛典(EXILE/三代目 J Soul Brothers)と高畑充希のW主演で、10~20代女性に支持され大ヒットとなりました。7月公開の「HIGH&LOW THE MOVIE」はEXILE TRIBEをはじめ豪華キャストが出演し、映画だけではなくTVドラマ・コミック・SNS・ライブ等様々なメディアコンテンツが展開される総合エンターテインメントプロジェクトとして、大きな話題を集めました。

【興行】 株松竹マルチプレックスシアターズにおいては、劇場宣伝の強化と、競合館との差別化を推進しました。その結果、ヒット作品については堅調に動員、また、自社配給作品の最大化に取り組んだことも売りに大きく貢献し、夏季オリンピックの影響はあったものの好成績を収めました。加えて、前期に実施した「リアル脱出ゲーム」の全国展開、MOVIX京都にオープンした本格グルメバーガーが楽しめる「MOTION DINER KYOTO」も、好調に推移しました。

【テレビ制作】 地上波にて、シリーズ企画「必殺仕事人2016」「司法教官 穂高美子5」、中村吉右衛門主演で長年放映され、今回でシリーズ終了となる「鬼平犯科帳スペシャル13 前後篇」、市川海老蔵主演の連続時代劇「石川五右衛門」、BSにて、情報番組「片岡愛之助の解明! 歴史捜査」等を受注制作しました。

【映像版權】 <<DVD・ブルーレイディスク販売>>「ARIA The NATURAL」「ARIA The ORIGINATION」「たまゆら~卒業写真~第4部 朝-あした-」等のアニメ作品の売上げが好調だった他、山田洋次監督作品「母と暮せば」等が収益に貢献しました。



「家族はつらいよ」
©2016「家族はつらいよ」製作委員会



「植物図鑑 運命の恋、ひろいました」
©2016「植物図鑑」製作委員会



平成28年3月 歌舞伎座「金閣寺」
©松竹株式会社

<<権利販売>>テレビ放映権販売では、地上波にてゴールデンタイムに「東京家族」「白ゆき姫殺人事件」等が放映され、BS放送にてBSジャパンで「釣りバカ日誌」シリーズが1月から8月まで放映され、好視聴率を上げました。配信許諾では、「ミケランジェロ・プロジェクト」等が堅調に推移し、収益に貢献しました。また、日本初の長編アニメーション「桃太郎 海の神兵」(1945年公開)をデジタル修復し、5月に開催されたカンヌ国際映画祭にて上映されました。

【CS放送】 松竹ブロードキャスティング(株)は、「衛星劇場」「ホームドラマチャンネル」にて、番組編成の強化による契約数の増加と広告営業が奏功し、収益の拡大を実現しました。また、有料放送事業分野における市場環境への柔軟な対応と、継続的な事業の拡大発展を目指し、日活(株)と業務提携に合意しました。

演劇事業

【歌舞伎座】 五代目中村右衛門襲名披露公演となる「三月大歌舞伎」、尾上菊之助長男の寺嶋和史の初お目見得が話題を呼んだ「團菊祭五月大歌舞伎」は、ともに豪華な出演者が揃い盛況となりました。新開場後の歌舞伎座初の宙乗りが話題となった「六月大歌舞伎」では「義経千本桜」を三人の主人公にスポットを当てた三部制興行で上演し、「七月大歌舞伎」は市川海老蔵と市川猿之助の組み合わせで大人気の興行となりました。「八月納涼歌舞伎」は若手花形俳優が勢揃いとなった公演となり、大盛況となりました。また「四月大歌舞伎」では夢枕獺原作の「幻想神空海」、「八月納涼歌舞伎」では笑福亭鶴瓶の新作落語の舞台化「廓断山名屋浦里」、ラスベガス公演もとりこんだ「東海道中膝栗毛」等、新作歌舞伎の上演が続き話題となりました。

【新橋演舞場】 3月の劇団☆新感線との共催公演「乱闘」に始まり、4月、5月連続公演の滝沢秀明主演の「滝沢歌舞伎2016」は、V6三宅健の出演も得て大盛況の公演となりました。また、6月の「東京喜劇 熱海五郎一座」、7月のOSK日本歌劇団による「レビュー夏のおどり」、藤山寛美二十七回忌追善と銘打ちました「松竹新喜劇爆笑七夕公演」、8月の尾上松也演舞場初主演公演となるミュージカ

ル「狸御殿」と続き、新橋演舞場の公演レパートリーの広さを印象付けました。

【大阪松竹座】3月の市川猿之助主演スーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）「ワンピース」は、昨年の新橋演舞場での大盛況を受けての上演で大きな話題を集めました。4月、8月は恒例となりました関西ジャニーズJr.公演が連日満員の盛況となりました。5月前半はOSK日本歌劇団「レビュー春のおどり」、後半は藤山寛美二十七回忌追善と銘打ちました「松竹新喜劇」を上演し、6月には「七変化ねずみ小僧捕物帳」を浅野ゆう子主演で上演し話題を集めました。恒例の「七月大歌舞伎」は五代目中村雀右衛門襲名披露公演として華やかな舞台が好評を博しました。

南座につきましては、安全性向上を図る工事を行うため休館しております。

【その他の公演】6月の渋谷・コクーン歌舞伎第十五弾「四谷怪談」は大盛況の公演となり、三越劇場「新派特別公演」では「深川の鈴」と「国定忠治」を上演しました。7月のサンシャイン劇場「グレイト・ギャツビー」はF・スコット・フィッツジェラルドの名作をオリジナルミュージカルとして舞台化し、名古屋、京都、神戸と巡演しました。

巡業公演では、4月に行われました四代目中村鴈治郎襲名披露「四国ごんばら歌舞伎大芝居」が盛況な公演となり、7月には公文協主催の「松竹大歌舞伎」にて、市川染五郎を中心の東コースと中村時蔵、尾上松緑中心の中央コースで全国を回りました。

受託製作では、博多座にて4月にスーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）「ワンピース」を製作し、「六月博多座大歌舞伎」は五代目中村雀右衛門襲名披露公演として行いました。明治座では、尾上菊之助、中村勘九郎、中村七之助ら若手花形俳優を中心とした人気の舞台「四月花形歌舞伎」、5月には中村橋之助主演の「御宿かわせみ」を製作しました。また、新たな試みといたしまして、4月末に行われたニコニコ超会議に於いて、超歌舞伎「今昔饗宴千本桜」を製作し、映像の先端技術と古典歌舞伎の融合を実現させました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】シネマ歌舞伎では、

「歌舞伎NEXT 阿豆流為〈アテルイ〉」を6月から全国公開し大好評を得ました。METライブビューイングは、2015-2016シーズンの「蝶々夫人」「ロベルト・デヴェリユー」他を上映いたしました。

不動産事業

不動産賃貸は、歌舞伎座タワー、築地松竹ビル（銀座松竹スクエア）、新宿松竹会館（新宿ピカデリー）、有楽町センタービル（マリオオン）、松竹倶楽部ビル、大船の松竹ショッピングセンター、新木場倉庫、大阪松竹座（地下飲食街）等が引き続き満室稼働し、東劇ビルの稼働率もほぼ100%となり、安定収入に貢献しました。また、各テナントとの賃料改定交渉にも誠実に対応し、利益の確保に努めました。

その他の事業

《プログラム・キャラクター商品》劇場プログラムは「殿、利息でござる!」「植物図鑑 運命の恋、ひろいました」「HiGH&LOW THE MOVIE」等の自社配給作品の売上が好調で収益に貢献しました。キャラクター商品は「機動戦士ガンダムTHE ORIGIN Ⅲ 暁の蜂起」「機動戦士ガンダム サンダーボルト DECEMBER SKY」「たまゆら〜卒業写真〜第4部 朝あした」等のアニメ作品がコアファンを中心に安定した収益を挙げました。また、「歌舞伎ふなっしー」に続くキャラクターコラボ商品として「リラックマ歌舞伎」商品を展開し、好調に推移しました。

《イベント事業》ホラーイベントが初の海外進出（中国・重慶市）を果たし、ジャパニーズホラーと呼ばれる日本独自の文化を発信し、大人気となりました。国内では昨年引き続き、東京タワーにてホラーイベント「東京タワーに伝わる怪奇 感視カメラ」を開催した他、今回で3回目となる、よみうりランドで松竹芸能の芸人とアシカが共演する人気イベント「スペシャルアシカ笑!!3」等を開催し好評を博しました。また、ホテルグレイスリー京都三条にて、歌舞伎の世界を体感できるコンセプトルーム「歌舞伎ルーム」の企画・デザイン等、空間プロデュースを行いました。

今後の見通し

今後のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、緩やかな回復に向かうことが期待されますが、中国をはじめとするアジア新興国、資源国等の景気の下振れがリスクとなっています。また、英国のEU離脱問題等、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動に留意する必要があります。

当社グループは、コンプライアンス経営の強化に取り組み、コーポレート・ガバナンスの推進を図って参ります。社会情勢に対応しつつ企業価値を高め、あらゆる世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。

【映像関連事業】映画製作・配給につきましては、9月に斬新な設定が高い評価を受けヒットした「超高速! 参勤交代」の続編で人気キャストが再結集した「超高速! 参勤交代 リターンズ」、数々の賞に輝いた原作マンガをアニメ化した「蠶の形」、中村勘九郎主演で映画と舞台が同時期に公開&上演という史上初のプロジェクト「真田十勇士」、10月にEXILE TRIBEをはじめ豪華キャストが出演する「HiGH&LOW THE RED RAIN」、12月に向井理主演の「RANMARU 神の舌を持つ男」を公開します。また、来年1月には直木賞受賞作品の実写化「破門 ふたりのヤクビョーガミ」、2月に大人気ベストセラーコミックの実写映画化「一週間フレンズ。」の公開を予定しています。

【演劇事業】歌舞伎座では10月、11月の2ヶ月に亘り、八代目中村芝翫襲名披露公演を行い、併せて子息である四代目中村橋之助、三代目中村福之助、四代目中村歌之助の襲名も行う華やかな公演となります。また「二月大歌舞伎」は中村勘九郎の二人の子息である三代目中村勘太郎と二代目中村長三郎の初舞台となります。また、新橋演舞場では9月に二代目喜多村緑郎襲名披露公演、1月に三代目中村右團次襲名披露公演を行います。歌舞伎、新派ならではの襲名等で公演を大きく盛り上げながら、10月に片岡愛之助主演の「GOEMON」、11月には大竹しのぶ、渡辺えり、キムラ緑子出演の「三婆」等の話題公演を続けて参ります。1月の浅草公会堂では、世代交代を実現した若手花形俳優中心の公演も3年目となり、より一層盛り上げていくよう宣伝、営業活動を行って参ります。大阪松竹座は、9月に二代目喜多村緑郎襲名披露「九月新派特別公演」を上演し、11月は藤山直美主演「笑う門には福来る ~女興行師 吉本せ

い〜」の公演を一昨年の博多座、新橋演舞場に続いて行います。1月は大阪松竹座新築開場二十周年記念公演の一環となります「壽初春大歌舞伎」を八代目中村芝翫襲名披露として華々しく幕を開けます。なお、京の年中行事「吉例顔見世興行」は先斗町歌舞練場にて、五代目中村雀右衛門襲名披露として開催します。

シネマ歌舞伎は、10月のスーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）「ワンピース」、お正月作品として坂東玉三郎主演の「阿古屋」と2本の注目作品を揃えております。またMETライブビューイング2016-2017シーズンは、例年通り11月よりワーグナーの「トリスタンとイゾルデ」で幕を開け、10作品の公開を予定しております。

【不動産事業】所有物件の残りわずかな空室部分に関しまして、テナント誘致に鋭意努めて参ります。また、当社保有不動産全体のスケールメリットを最大限に活かし、経費の削減と効率的な管理のもと、より一層の安定収益確保に努めて参ります。ビル管理では、「安心・安全なビル運営」を心がけ、定期的な法定点検・保守点検に万全を期し、所有物件の安全性向上を図って参ります。なお、京都市中京区の京都第3ビルは、昨年のテナント退去後に再開発に向けた解体工事に着手しております。

【その他の事業】プログラム・キャラクター商品では、「秘密 THE TOP SECRET」「超高速! 参勤交代 リターンズ」「真田十勇士」「一週間フレンズ。」の自社配給作品をはじめ、他社配給の「ファンタスティックビーストと魔法使いの旅」等で作品のターゲット、コアファンに向けた商品開発に注力し、高収益を目指して参ります。また、映画以外では人気を博した「リラックマ歌舞伎」商品の第2次販売や、プログラム以外の出版物発売にも積極的にチャレンジし、映画興行に左右されない収益基盤の構築に努めて参ります。

イベントプロモーション事業については定番企画の受注活動に加え、本年7月から9月にかけて中国・重慶市で開催したホラーイベントを今後、中国の各都市で巡回開催して参ります。国内では歌舞伎商品等の物販イベントにも注力し、商品販売における収益化も拡大して参ります。また好調な歌舞伎商品の企画開発や販売拠点の拡大に注力し、商品化権による収益化も目指して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年3月 歌舞伎座「鎌倉三代記」
©松竹株式会社



平成28年7月 新橋演舞場
「藤山寛美二十七回忌追善 松竹新喜劇
爆笑七夕公演 浪花の夢宝の入船」
©松竹株式会社



歌舞伎座タワー
©松竹株式会社・
株式会社歌舞伎座



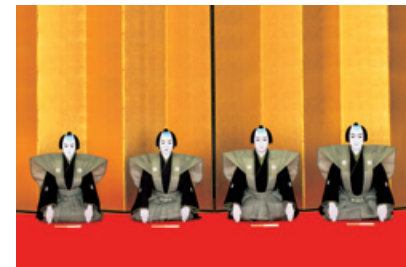
「リラックマ歌舞伎」
ぬいぐるみ
©SAN-X CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.
©SHOCHIKU Co., Ltd. All Rights Reserved.



「超高速! 参勤交代 リターンズ」
©2016「超高速! 参勤交代 リターンズ」製作委員会



「一週間フレンズ。」
©2017葉月抹茶/スクウェアエニックス・
映画「一週間フレンズ。」製作委員会



「八代目中村芝翫、四代目中村橋之助、
三代目中村福之助、四代目中村歌之助口上」
©松竹株式会社

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成28年8月31日現在	前期末 平成28年2月29日現在
資産の部		
流動資産	44,042	42,974
固定資産	151,329	154,034
有形固定資産	104,517	106,185
無形固定資産	2,880	2,851
投資その他の資産	43,931	44,997
資産合計	195,372	197,009
負債の部		
流動負債	31,106	33,590
固定負債	82,325	82,824
負債合計	113,432	116,415
純資産の部		
株主資本	75,308	73,549
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	30,136	30,135
利益剰余金	13,508	11,740
自己株式	△ 1,355	△ 1,344
その他の包括利益累計額	6,564	6,979
その他有価証券評価差額金	6,510	6,937
退職給付に係る調整累計額	53	41
非支配株主持分	67	65
純資産合計	81,940	80,594
負債・純資産合計	195,372	197,009

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 自平成28年3月1日 至平成28年8月31日	前第2四半期累計期間 自平成27年3月1日 至平成27年8月31日
売上高	47,819	47,808
売上原価	26,849	27,343
売上総利益	20,970	20,465
販売費及び一般管理費	16,801	15,883
営業利益	4,168	4,581
営業外収益	282	342
営業外費用	736	711
経常利益	3,714	4,212
特別利益	39	500
特別損失	58	649
税金等調整前四半期純利益	3,695	4,062
法人税、住民税及び事業税	1,274	1,158
法人税等調整額	97	209
法人税等合計	1,371	1,367
四半期純利益	2,323	2,695
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△ 2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,321	2,697

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 自平成28年3月1日 至平成28年8月31日	前第2四半期累計期間 自平成27年3月1日 至平成27年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,408	5,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,251	△ 2,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,848	509
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,690	3,962
現金及び現金同等物の期首残高	14,329	9,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,638	13,514

RANMARU 神の舌を持つ男

酒蔵若旦那怪死事件の影に潜むテキサス男とボヘミアン女将、そして美人村医者を追いつめる謎のかごめかごめ老婆軍団と三賢者の村の呪いに2サスマニアwithミヤケンとゴッドタン、ベロンチョアドベンチャー! 略して・・・蘭丸は二度死ぬ。鬼灯デスロード編



監督：堤幸彦
 出演：向井理、木村文乃、佐藤二朗、他
 主題歌：坂本冬美「女は抱かれて鮎になる」
 (ユニバーサル ミュージック)
 2016年12月3日(土)公開
 ©2016 RANMARUとゆかいな仲間たち

「トリック」「SPEC」「BECK」「21世紀少年」など数々のヒット作を生み続けるエンターテインメントの名匠・堤幸彦が20年来温めに温めてきたアイデア…それは、日本人の誰もが愛する【温泉】を舞台に、旅をしながら事件の謎を解決するミステリーだった!

愛を求めて放浪するウブな男が女を追って行く先々の温泉郷で事件に出くわすも、その特異な能力=舌で舐めて鮮やかに解決!! 2時間サスペンスドラマ、横溝正史の金田一耕助シリーズのオマージュをはじめ、ギャグやパロディもふんだんに取り入れながら、「相棒」シリーズ、「ATARU」など大人気ミステリードラマを手がける脚本家・櫻井武晴によって仕掛けられた緻密で巧みな謎解きが推理劇としての質の高さを保証する。たどり着いた温泉地の人々との心のふれあい、裸のつきあい、出会いと別れを経て、そしてまた旅は続く一。まさに人情、旅情が過剰に異常で、抒情

と温泉口マン溢れる今年度最強の! 正月映画が誕生した。俳優の意外な一面を引き出して、ひと皮もふた皮も剥く堤マジックが、今回も炸裂。映画版では、朝ドラ「とと姉ちゃん」のお母さん役・木村多江がマドンナ役で登場、ほかに市原隼人、財前直見、黒谷友香、故・蜷川幸雄の遺産・さいたまゴールド・シアターの老人俳優たちなどが盛り上げる。

濃過ぎるキャラたち、とめどなく繰り出されるハイブローなギャグ、2時間サスペンス風味、温泉、ちょっぴりのエロス、ラブも少々、田舎で起きる殺人事件、ちょっぴりの社会派視点、坂本冬美による演歌の主題歌……と娯楽の要素をこれでもかとぶちこんで、堤幸彦の技で華麗にまとめあげたコミカルミステリーは国宝級の味わい。

娯楽映画の決定版を「舐めないで頂きたい」謎解きを楽しみながら大いに笑って癒されてください!!!

2016年度の新作歌舞伎への取り組み

当社の演劇本部において大黒柱と位置付けられているのが歌舞伎公演です。古典の継承はもちろんのこと、時代の変遷や風潮、また、観客のニーズに応えた上、後世へ伝える財産となるべく、新作歌舞伎の上演を大きな使命のひとつとしています。今上半期においても数々の新作歌舞伎を、歌舞伎のホームグラウンドである歌舞伎座で上演したことは大きな意義があると言えます。

4月の大歌舞伎公演夜の部で夢枕獏の伝奇小説『沙門空海唐の国にて鬼と宴す』を歌舞伎化した『幻想神空海』を初演しました。スケールの大きな世界観で描かれた原作を、歌舞伎ならではの様式美とダイナミックな演出を用いた舞台は大きな話題を呼ぶものとなりました。続く8月の納涼歌舞伎公演では、人口に膾炙した十返舎一九の滑稽本を素材にした『東海道中膝栗毛』を第二部に上演しました。宙乗りや立回りをはじめとする歌舞伎ならではの演出に加え、最新の映像技術等を用い、劇中でラスベガスのカジノの場面が盛り込まれる等、客席を大いに沸かせました。また、第三部では、平成27年1月に笑福亭鶴瓶が初演した新作落語を素材に用いた『廓嘶山名屋浦里』を上演し、平成の新しい世話物として、大きな感銘を与える作品となりました。

さらに新しい試みとして、参加型複合催事のニコニコ超会議において伝統文化の歌舞伎とポップカルチャーを融合させた超歌舞伎『今昔饗宴千本桜』を上演し、日本最大級の広告賞のひとつACC CM FESTIVALのインタラクティブ部門でブロンズ賞を受賞、大きな成果を挙げる等、新作歌舞伎の上演に意欲的に取り組みました。



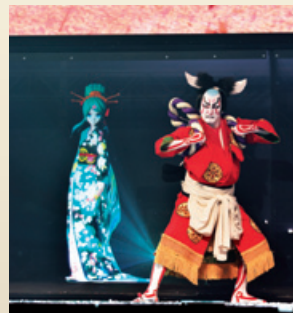
平成28年4月
歌舞伎座「幻想神空海」
©松竹株式会社



平成28年8月
歌舞伎座「東海道中膝栗毛」
©松竹株式会社



平成28年8月
歌舞伎座「廓嘶山名屋浦里」
©松竹株式会社



平成28年4月 ニコニコ超会議・
超歌舞伎「今昔饗宴千本桜」
©松竹株式会社/株式会社ドワンゴ

ラスベガスで新作歌舞伎 「KABUKI LION 獅子王」を上演

2016年5月、名門ホテルMGM Grand内の劇場において、新作歌舞伎『KABUKI LION 獅子王』を市川染五郎、中村歌六他により上演いたしました。わかりやすく楽しんでいただけるよう、英語の台詞をふんだんに取り入れ、演出を工夫することで、約650人収容の劇場が7回の公演でほぼ満席となり大盛況となりました。劇場公演の他にも、日本文化をテーマにプロジェクション・マッピングを駆使した噴水ショー「Water Screen Digital Show」を製作し、来場者は延べ7万人を超えました。

特別協賛をいただいたパナソニック株式会社、技術提供していただいた日本電信電話株式会社（NTT）の両社の技術は、歌舞伎の舞台演出に新たな可能性を示した他、劇場前で行われた両社の技術展示や、NTTによる日本への舞台映像ライブ伝送など、コンテンツを用いた日本の最新技術のPR展開においても多大な成果をあげることができました。



©松竹株式会社



©松竹株式会社



©松竹株式会社

会社の概要

商号 松竹株式会社
 設立 大正9年11月
 資本金 33,018,656,642円
 従業員数 536名

本社、支社および営業所
 本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
 電話 03-5550-1534 (総務課)
 関西支社 (大阪)
 九州営業所 (福岡)

当社ホームページ
<http://www.shochiku.co.jp/>

役員

代表取締役会長	大谷信義
代表取締役社長	迫本淳一
取締役副社長	安孫子正人
取締役副社長	細田光雅
専務取締役	武田中雅
常務取締役	大岡角哲
常務取締役	山崎根成
社外取締役	越村元敏
取締役	秋根康
取締役	関中早
取締役	田村幸
取締役	西村敏
取締役	高井一
取締役	玉井弘
取締役	哉
常勤監査役	岡田敏明
社外監査役	鈴木木茂
社外監査役	牛島貞
社外監査役	立花貞

グループ会社一覧

- 連結子会社
- ・松竹衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
 - ・(株)松竹サービスネットワーク：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行業者代理業
 - ・松竹ショウビズスタジオ(株)：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
 - ・松竹芸能 (株)：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
 - ・松竹ブロードキャスティング(株)：CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
 - ・(株)松竹撮影所：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
 - ・(株)松竹映像センター：映像制作、編集およびDVDオーサリング
 - ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ：複合映画館(シネマコンプレックス)の開発・運営
 - ・松竹音楽出版 (株)：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
 - ・松竹ナビ (株)：宣伝の企画・制作・代理
 - ・歌舞伎座舞台 (株)：演劇舞台の大道具製作・販売
 - ・(株)関西美術：演劇舞台の小道具製作・賃貸
 - ・日本演劇衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
 - ・(株)松竹エンタテインメント：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
 - ・匿名組合築地ビルキャピタル：築地松竹ビルの賃貸および管理
 - ・KSビルキャピタル特定目的会社：歌舞伎座タワーの賃貸および管理

持分法適用会社

- ・(株)サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇の興行他
- ・(株)イヤホンガイド：演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・(株)歌舞伎座：歌舞伎座その他の事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場 (株)：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア(株)：放送法による委託放送業務およびその他の放送一般事業
- ・歌舞伎座サービス (株)：食堂・飲食店舗・売店の経営
- ・A e t a s (株)：ゲーム全般に関する情報サイトの運営

株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株
 発行済株式の総数 139,378,578株 (自己株式1,175,226株を含んでおります。)
 株主数 17,202名 (前事業年度末比54名増)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほ銀行	4,500千株	3.26%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344千株	3.14%
セコム株式会社	3,700千株	2.68%
清水建設株式会社	3,690千株	2.67%
株式会社大林組	3,600千株	2.61%
西松建設株式会社	3,288千株	2.38%
大成建設株式会社	3,104千株	2.25%
三井物産株式会社	2,700千株	1.95%
株式会社TBSテレビ	2,542千株	1.84%

(注) 持株比率は自己株式 (1,175,226株) を控除して計算しております。

株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

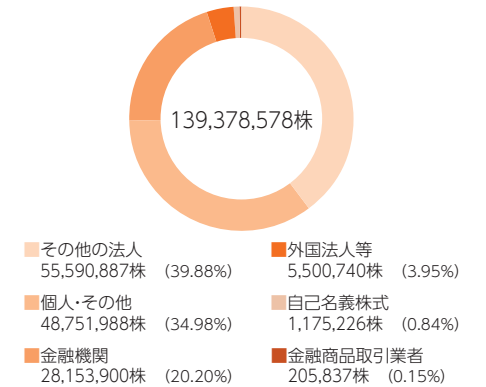
権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)	
1,000株以上	80ポイント	(40ポイント)
2,000株以上	160ポイント	(60ポイント)
3,000株以上	200ポイント	(80ポイント)
5,000株以上	280ポイント	(100ポイント)
8,000株以上	400ポイント	(120ポイント)
10,000株以上	480ポイント	(140ポイント)

【所有者別株式分布表】



【演劇優待 枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。
 ※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、新宿ピカデリーののみ1名様20ポイントが必要となります。
 ※新宿ピカデリーは公開の2週目(8日目)以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。
 ※3D映画は、1名様につき15ポイント(通常10ポイントの1.5倍)で、ご鑑賞可能となります(新宿ピカデリーののみ30ポイント)。

株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月下旬

株主確定基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当 2月末日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711（フリーダイヤル）
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

単元株式数 1,000株

公告掲載URL <http://www.shochiku.co.jp/company/ir/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。)

【お知らせ】

ご注意

- (1) 株主様の住所変更、配当金の口座振込ご指定その他各種お手続きにつきまして、証券会社に口座を開設されている株主様は、原則当該証券会社に、証券会社に口座を開設されておらず特別口座にご所有株式が記録されている株主様は、上記の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にそれぞれお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (2) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。

お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。